

社会福祉法人
グリーンコープ

- ・ふくしサービスセンターおおきな木
- ・小規模多機能ホームほのぼの・水俣
- ・ほのぼのサテライト
- ・ケアプランセンター水俣

設立 平成9年7月
 従業員数 59人
 事業内容 介護支援事業



(上) 20代から70代の幅広い年代の職員が勤務。託児支援があり、子育て中の人も働けます。入社してから資格を取る人も多く、若い人も働きやすい職場です。(下) 今年の恋龍祭の総踊りでの仮装。毎年、趣向を凝らした仮装で楽しんでいます。

「夢ヲかたちに、住んでる町を住みたい町に」という目標をかげ、同法人は設立されました。元々は、赤ちゃんからお年寄りまで、ともに支えあい安心して暮らし続けられる地域社会をめざし、出資から経営までみんなで協力しながら活動する『ワーカーズ』という団体で子育て支援をしていました。その後高齢者福祉・障がい者福祉にも携わってきました。利用者が「住み慣れた町で最後まで」安心して暮らしていく為には質の高いサービスの提供が不可欠です。訪問介護を中心の事業とする「ふくしサービスセンターおおきな木」、利用者に応じて通所、訪問、泊まりを一体的に提供する「小規模多機能ホームほのぼの・水俣」、「小規模多機能ホームほのぼのサテライト」、利用者一人ひとりに合わせたケアプランを立てる「ケアプランセンター

水俣」。この4つの事業所で連携しながら、ケアプランの立案から訪問介護や通い、宿泊など、利用者の生活に合わせてサービスを提供。同じ法人内にあるので、普段からコミュニケーションを図り、定期的な研修・会議などでチームケアの充実に励んでいます。また地域に根差した事業所を目指し、恋龍祭や21区の文化祭への参加や小規模多機能ホーム周辺の清掃活動を行なうなど、地域の人に親しみやすい場になれるよう努力しています。「すべての人が住み慣れた地域の中で、最後まで安心して暮らしていけるように支援します」、「その人らしい生き方を大切にします」。法人のケア理念であるこの二つを大切にしながら、利用者が最後まで安心して生活できる「場」をこれからも作り続けていきます。



利用者様と楽しいお喋りをする毎日

私たちの基本理念は「共に生きる」人と人が助け合い、支え合い、暮らしに寄り添えるように。人と人が生命（いのち）そのものに価値があることを知り互いを大切にできるように。誰もがお互いさまで対等に共に生きる地域社会を作りたいと考える法人です。水俣市内には小規模多機能ホームほのぼの水俣、ほのぼの水俣サテライト、ふくしサービスセンターおおきな木、ケアプランセンター水俣があります。介護福祉士、看護師、介護支援専門員など専門職が手を取り合って、ご利用者様の在宅生活に寄り添っています。



ケアプランセンター水俣



ほのぼの水俣サテライト



ふくしサービスセンター
 大木



小規模多機能ホーム
 ほのぼの水俣